

No.170

公民館だより

令和2年11月

宮津市字由良
由良の里センター内
由良地区公民館

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動

由良地区公民館長 千坂 幸雄

栗田小学校と栗田中学校が
コミュニティ・スクールになり、
今年度から動き出しました。

文部科学省のパンフレット
を参考にして説明します。コ
ミュニティ・スクールとは、
学校運営協議会を設置した学
校です。学校運営協議会とは、
法律に基づき教育委員会によ
り任命された委員が、一定の
権限をもって、学校の運営と
そのために必要な支援につい
て協議する合議制の機関のこ
とです。

地域学校協働活動とは、地
域住民、学生、保護者、NPO、
民間企業、団体、機関等の幅
広い地域住民等の参画を得て、

地域全体で子供たちの学びや
成長を支えるとともに、「学校
を核とした地域づくり」を目
指して、学校と地域がパート
ナーとして連携・協働して行
う様々な活動です。

次の時代を担う子供たちに
対して、どのような資質を育む
のかという目標を共有し、学校
と地域が連携・協働します。

地域学校協働活動は、社会
教育法第5条第2項により、
学校と協働して行う以下の活
動と規定されています。

○学校の授業終了後又は休業
日において学校、社会教育
施設等で行う学習、その他
の活動

○ボランティア活動、社会奉
仕体験活動、自然体験活動
その他の体験活動

○社会教育における学習の機
会を利用して行った学習の
成果を活用して学校、社会
教育施設等で行う教育活動、
その他の活動

地域学校協働活動を推進す
るためには、学校と地域をつ
なぐコーディネーターの役割
は不可欠です。「地域学校協働
活動推進員(地域コーディネー
ター)」は、社会教育法に基づ
き教育委員会が委嘱する地域
住民等と学校との連絡調整を
行うコーディネーターです。

今までも学校と地域との
連携で様々な取り組みをして
きましたが、これまでの連携
の多くは、学校の要請により、
保護者や地域住民が支援する
という「支援型」(一方向)が
主な連携となっていました。
これからは、子どもや学校の
現状や課題、目指す姿などを
共有した上で、「学校としてで
きること」と「地域としてで

きること」を出し合いながら、
子ども達のために一体となっ
て取り組んでいく「協働型」(双
方向)での連携を基本の考え
方に据えています。

学校運営協議会で協議した
ことを地域コーディネーター
にお願いし、地域と連携して
協働活動ができるようにしま
す。地域コーディネーターは
学校運営協議会にも参加して
いただきます。

今までに3回学校運営協議
会を開いています。

1回目、委員の確認、会長・
副会長の選出、会則の決定、
学校教育方針・教育計画の承
認

2回目、「地域と関わってい
る子どもたちの取り組み、今
の子どもの現状と未来」につ
いての意見交流、地域コデー
ネーターの選出

3回目、研修会の感想交流、
今までの学校と地域の具体的
取組、地域コーディネーター
の選出

行事報告

主事 山下まさ代

由良ヶ嶽山頂整備作業

6月10日(水) 実施

新型コロナウイルスの影響で延期になっていましたが、自治連、観光組合の方々11名にお世話になり実施することが出来ました。



はまの子グラウンド除草作業

9月6日(日) 実施

自治連、松寿会、子供会連絡協議会、浜野路青壮年会、宮津市ターゲットバードゴルフ協会(12名)、グラウンドや体

育館を使用しているサークル、そして地域の皆様と多くの方にご協力いただき、見違えるほどきれいになりました。ありがとうございました。

また、日頃から気にして作業をしていただいている方々など皆さんの熱い思いとご協力で由良地区は守られているのを実感します。

その他、予定していた公民館行事

- ・ 8月 四部対抗ソフトボール大会
 - ・ 11月 文化祭
 - ・ 11月 お出かけウォーク
 - ・ 12月 しめ縄講習会
 - ・ 12月 子ども料理教室
- 残念ながら、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となりました。



由良有償運送車 運行中

由良有償運送



鉄橋とみかんとオリーブが目印

2017年4月から運行されていた路線バスに代わり、新しい交通サービスが10月1日からスタートしています。以前と同様、火曜日と木曜日のみの運行です。2日前までに予約してご利用ください。

予約電話番号 090-6053-4256

地域とともに歩む栗田学院

栗田中学校 教頭 田中 章 二

今年度より、栗田中学校教頭をさせていただいています田中章二と申します。

地域の皆様には、日頃より、本校の教育活動に對しまして、深いご理解と多大なるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

栗田中学校には、平成二十七年四月に着任し、二年担任として一年、教務主任として四年、そして、今年度からは教頭としてお世話になっていきます。

栗田中学校に着任した一年目から、栗田中学校の子どもたち、保護者や地域の皆様の印象は、全く変わっていません。私が感じる子どもたちの印象は、「素直、真面目、一生懸命な子どもたち」であるということでした。そして、保護者や地域の皆様は、「とても協力的で、学校に對して理解がある」と感じてい

ます。PTA行事では、多くの保護者の皆様に参加をいただいています。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたが、体育後援会賛助金、また、春は中止となりましたがPTA資源回収（秋は、十一月十五日に実施の予定です。）など、本当に多くのことに對して、ご協力、ご支援をいただいています。本当に有り難いことだと、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

そして、栗田中学校に赴任してから六年間で、栗田中学校も少しずつ変化をしてきました。その一つが、小中一貫教育の全面実施です。平成三十一年四月に「栗田学院」としてスタートしました。小中一貫教育は、幼稚園を含め、十年間を見通した

連続性のある教育活動を展開することを基本理念としています。栗田学院の教育目標は「未来を生きる心身ともにたくましい幼児・児童・生徒の育成」とし、目指す子ども像を（一）夢の実現に向け自ら学ぶ子ども（二）お互いが認め合える心豊かな子ども（三）健康で元気に生活できる子ども（四）ふるさとを誇り地域に貢献できる子ども、としていることは、宮津市教育フォーラムを始め、様々なところでお伝えしているところです。幼稚園、小学校、中学校の教職員が協力し、栗田学院の子どもたちのよりよい成長、そして将来のために、教育活動を実践しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、例年、行っている取組で、中止したものもありますが、できないのではなく、どうすればできるかを考え、子どもたちの気持ちや思いが繋がるように取り組んでいます。

さらに、今年度は、学校運営

協議会（コミュニティー・スクール）の本格導入の年となります。六月二十六日に第一回栗田学院学校運営協議会を開催し、学校運営協議会委員の皆様には、十月までに三回の会議や研修会等にご参加をいただき、地域と学校の協働活動に對しての熟議をしていただいています。今後もお協力、ご支援いただき、地域とともにある学校づくりを進めていきたいと考えています。

最後に、私はこの温かな雰囲気がある栗田・由良の地が大好きですし、保護者・地域の皆様には大変ご恩を感じています。これからも、保護者・地域の皆様のご協力、ご支援をいただきながら、子どもたちのよりよい成長や未来のため、そして地域の活性化のために教育活動を推進していきたいと思えます。これからも地域の皆様とともに歩む栗田学院をどうぞよろしくお願ひいたします。

就任のご挨拶

由良子供会連絡協議会 会長 山本 隆 教

由良ヶ岳の山々も濃い緑色から徐々に紅葉に色づき、日中はとても過ごしやすい季節を迎えました。

由良地区の皆様には、日頃より由良子供会連絡協議会の活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

この度、由良子供会連絡協議会の会長を務めさせていただくことになりました。由良に生まれ育った私としては、地域の皆様に育てられたことに改めて心から感謝申し上げますとともに、会員及び地域の皆様からのご支援を賜りながら、微力ではございますが、地域の皆様に恩返しできよう精一杯努めてまいりたいと思っておりますので、よろし

くお願いいたします。

普段なら由良祭りの太鼓の練習の音色が聞こえてくる時期ですが、今年は少し寂しい年となりまりました。皆様ご存知のとおり、新型コロナウイルスの感染症が世界中で猛威を振るっています。

子供達は新年早々、新型コロナウイルスの影響による長期の臨時休校から学校再開と学校生活を心待ちにしていた新一年生はもとより、今年小中学校が最後となる最終学年にとっても大変な一年となりました。今年は夏休みが普段より短くなり、1学期予定の学校行事も2学期へ変更になるなど子供達にとっては普段とは違う学校生活となり、現在も不安な日々での生活が続

いています。

本協議会の事業についても同様に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各地区合同での子供会の事業開催も困難を極め、各地区での子供会行事についても延期や中止をせざるをえない状況となりました。近況の事業報告を申し上げますと今夏は子供達に申し上げますと今夏は子供達にとっては短い夏休みとなりましたが、夏休み期間中に各地区子供会では感染症の予防対策を講じてラジオ体操を実施したところです。

新型コロナウイルス感染症は、急速に世界に拡大して今もなお人々の健康を脅かしています。インフルエンザが流行する冬を迎え、更なる感染症予防対策が必要です。安全で有効な新型コロナウイルスワクチンが無事開発され、感染症も収束し、また子供達が元気いっぱい一緒に遊べる日が来ることを願う日々です。

最後になりましたが、この困難な状況を地域の皆様と共に様々な変化に対応しながら、乗り越えていきたいと思っています。今後もコロナ禍での子供会合同での事業実施は困難な状況ではございますが、予防対策を講じて各地区でひとつでも多く事業実施に取り組みればと願っております。今後とも地域の皆様の本協議会の活動への引き続きのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



特殊詐欺の被害防止について

由良駐在所 森井 善徳

日頃は駐在所の各種活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

昨年四月に由良駐在所に着任して以来、皆様から温かい励ましと貴重なご意見を賜りながら、早や一年半余りが過ぎました。

この間、新型コロナウイルスの感染が世界的に猛威を振るう状況はいまだに続いておりますが、由良管内では大きな事件事故は発生しておらず、これもひとえに皆様もお蔭と大変感謝しております。

さて、今回公民館だよりに寄稿させて頂く機会を頂戴いたしましたので、

振り込め詐欺等の特殊詐欺の被害防止

について説明させて頂こうと思えます。

オレオレ詐欺をはじめとする振り込め詐欺や金融商品等の取引名目の詐欺の手法を、特殊詐欺と総称しますが、令和二年八月末現在の京都府下における被害認知件数は一三〇件で、前年同比プラス一八件と増加しています。

また、被害額は約一億六九四三万円にも上っており、一件あたりの平均被害金額は約一四一万円にもなります。特殊詐欺の手法で一番被害の多いのは、

預貯金詐欺

という手法で、親族、警察官、銀行協会職員等を装い、あなたの口座が犯罪に利用されており、キャッシュカードの交換手続きが必要である等の名目で、キャッシュカード、クレジットカード、預金通帳を

だまし取るもので、全部で八四件に上ります。次に多いのは

架空料金請求詐欺

という手法で、これは携帯電話のメールで、身に覚えのないサイトの利用料金を請求されたり、はがきや郵便で有りもしない訴訟を臭わせて示談金を求めたりするもので、犯人は、コンビニなどで電子ギフト券で支払うように指示できます。

京都府内で二二件も発生しており、宮津警察署管内でも昨年から多数発生しています。

また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、全国的にこれに便乗した詐欺が発生しています。

給付金に関する不審なメールやSMSが届いても、URLにアクセスしないでください。

特殊詐欺の被害者の多くが、「まさか私が引つかかるとは思っていなかった」と被害を

受けてから振り返られるのですが、それは手口が年々悪質・巧妙化している証で、皆さんが被害にあわないためにも、

- 防犯機能の付いた電話機を使用したり、在宅時も留守番電話に設定しておく。
 - 「キャッシュカードを預かります。暗証番号を教えてください」は詐欺です。
 - 「有料サイトの支払いで、コンビニでギフト券を買い、番号を教えてください。」は詐欺です。
 - お金が戻ってくる。必ず儲かるといふ言葉を信用しない。
 - 電話で親族からお金を要求されても、すぐに応じず、以前から知っている電話番号にかけて直して確認する。
 - 少しでもおかしいと思えば、相手の言うことを聞く前に、警察や家族、知人に相談する。
- などのことを心掛け、特殊詐欺の被害にあわないようにしましょう。

人権擁護委員から

人権擁護委員 大森 日向子

いまだコロナ禍は終息せず、すべての人は今までとは違う生活をしいられていて、精神的にも重荷となつています。そんな中で、医療従事者やその家族、感染者への誹謗中傷などが起きています。コロナを恐れるあまり、人を思いやるという当たり前のことをなくさないようにしたいものです。

人権問題について学ばれた方もたくさんおられると思います。しかし、時の流れとともにコロナでの人権問題のように新しい課題がでてきます。また、これまでから言われていたことについても新たな考え方がでてきているものもあります。

本年度の人権擁護機関としての啓発活動強調事項は、「女

性の人権を守ろう。」「子どもの人権を守ろう。」「高齢者の人権を守ろう。」「障害を理由とする偏見や差別をなくそう。」「同和問題（部落問題）を解消しよう。」「アイヌの人々

に対する偏見や差別をなくしよう。」「外国人の人権を尊重しよう。」「HIV感染者等に対する偏見や差別をなくそう。」「ハンセン病患者・元患者・その

家族に対する偏見や差別をなくそう。」「刑を終えて出所した人に対する偏見や差別をなくそう。」「犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう。」「インターネットによる人権侵害をなくそう。」「北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう。」「ホームレスに対する偏見や差別をなく

そう。」「性的指向及び性自認を理由とする偏見や差別をなくそう。」「人身取引をなくそう。」「東日本大震災に起因する偏見や差別をなくそう。」です。

市などでも講演会が開かれることもあり、ご参加いただいで学びを深めていただけたらと思います。

ところで、「人権擁護委員」つてご存じでしょうか。人権擁護委員は、法務大臣に委嘱され、全国の市町村に配置されています。人権擁護委員の制度は、昭和二三年に始まりました。こういう制度は、諸外国にも例をみないものです。

活動と役割は三つあります。一つめは、子どもから大人までの人権に関する相談を受けています。「広報みやづ」に相談の場所や時間が毎月でています。また、面接での相談の他に電話やインターネットによる相談もあります。

二つめには、人権を侵害されたという被害者からの申告を受け、法務局職員と協力して、調査・処理にあたります。人権相談などから救済手続きを開始することもあります。

三つめには、人権意識を高め、人権について理解を深めていただくために街頭啓発・啓発イベント、講演会などをしていきます。

これらもコロナ禍のなかで例年通りできないものもありますが、少しでもみんなが幸せに暮らせるように活動していきます。ご協力をお願いします。

★みんなの人権 一〇番

〇五七〇一〇〇三一一〇

★子どもの人権 一一〇番

〇一二〇一〇〇七一一〇

★女性の人権 ホットライン

〇五七〇一〇七〇一八一〇

★パソコン・スマホ・携帯電話
話 「インターネット人権相談」で検索

由良松寿会への名称変更と 由良浜での駐車場営業について

宮津市老連理事 由良松寿会 岸田 博司

宮津市老連由良老友会から由良松寿会への名称変更は、平成十五年四月一日に由良みかん組合長を兼務されていた岸田勇様から山口幸一様に会長が交代する時、会員の若返りと増強を図るため『由良松寿会』と名称を変更することになりました。

当時、由良海水浴場にも海水浴客が多く来ており、老友会の先輩達が由良中央海水浴場の少し東側の駐車場を借りて営業を実施しておりました。由良松寿会と名称を変更しても駐車場の営業は継続する事としました。満車の場合には五十台程駐車できるスペースがあり、駐車料金は浜茶屋を含め由良浜で決められてお

り乗用車は一日千円、バイクは五百円となっておりました。営業期間は夏場のみで、中学校の生徒が夏休みとなる七月中旬頃からお盆（海が荒れ、クラゲが発生する頃まで）としておりました。この間の約一ヶ月間は天候や波の状況によつては営業を中止する事も

ありましたが、ほぼ毎日松寿会員が交代制で勤務しておりました。お陰様で駐車場の営業利益はお客様の車の数によつて異なりますが、駐車場の借地代、ガス、水道、電気代ほか勤務員に支払う日当(男女を問わず)一人一日五千円、その他税金等を除いて、年平均して三十万円〜四十万円程ありました。由良松寿会はこの資金を大切に

資料①

由良松寿会相談役及び顧問受諾者一覧表

H21.10.1現在 (順不同、敬称略)

NO	役 職 名	氏 名	備 考
	(相談役)		
1	松原寺 住職	岡野 聖弘	
	(顧問)		
1	宮津市議会議員	大森 秀朗	
2	宮津市議会議員	松原 護	
3	由良診療所 所長	堀川 義治	
4	由良小学校 校長	山本 文雄	
5	由良自治連合会 会長	栢田 益一	
6	由良宮本自治会 会長	井野 義章	
7	由良浜野路自治会 会長	田中 一雄	
8	由良港自治会 会長	藤本 繁光	
9	下石浦自治会 会長	栢田 康秀	
10	上石浦自治会 会長	木村 豊	
11	由良郵便局長	有本 敬	
12	由良駐在所 所長	村田 浩至	
13	前公民館長	飯澤 登志朗	
14	由良婦人会 会長	千阪 千恵子	
15	由良民生委員 常務	上田 町子	
16	由良観光組合長	松本 弘	
17	由良実業会 会長	松林 富次雄	
18	由良脇自治会 会長	岸田 正憲	

の資金を大切に年二回の旅行(福祉バス利用の市老連の旅行と松寿会独自で計画する旅行)を会員の希望を取り入れ、全国三天運動である「健康・友愛・奉仕」の活動を積極的に実践して好評を得ておりました。尚、由良松寿会会員が由良浜駐車場で稼いだ収入は特別会計として別途プールして保存しております。毎年十万円ずつ一般会計に繰り入れ、会をスムーズに運営し

てきました。会長は山口幸一様に続き熊田良雄様、大石伊兵衛様、岸田博司、中西洋一様、山田耕助様と続き現在に至っております。この間、会員の年齢も高くなり、定年退職しても入会していただける人はいませんでした。苦肉の策として由良の松原寺住職、由良出身の市議会議員二名、由良診療所長、由良小学校長、他六地区の自治会長等「由良松寿会相談役

及び顧問受諾者一覽表」(資料①)に基づき、すべての顧問と面談の上、受諾していただく事ができ、お陰様で由良松寿会も当分の間、会員三十人以上で継続する事が出来るようになってきました。(資料②)

そして、元気で米寿を迎えられた元会長の岸田勇様と同じく元会長の山口幸一様の兩名に、その功績と労苦に対し感謝状を進呈して、ご家族様から感謝されました。(資料③)

資料②

由良松寿会相談役委第一号

委 嘱 状

松原寺位職
岡野聖弘殿

あなたと由良松寿会の相談役に委嘱します
なお委嘱の期間は委嘱の日から二箇年とします
平成二十一年十月一日

由良松寿会
会長 岸田博司

由良松寿会顧問委第一号

委 嘱 状

宮津市議会議員
大森秀朗殿

あなたと由良松寿会の顧問に委嘱します
なお委嘱の期間は委嘱の日から二箇年とします
平成二十一年十月一日

由良松寿会
会長 岸田博司

由良松寿会顧問委第二号

委 嘱 状

宮津市議会議員
松原 護殿

あなたと由良松寿会の顧問に委嘱します
なお委嘱の期間は委嘱の日から二箇年とします
平成二十一年十月一日

由良松寿会
会長 岸田博司

資料③

感 謝 状

元由良松寿会会長
山口幸一殿

あなたは永年に亘り老人クラブの目的である健康・友愛・奉仕活動の推進に尽力されてこられました。特に由良老友会から由良松寿会に発展し脱皮するとき多大な貢献とされました。

今年米寿を迎えられるにあたり数多くの御功績と労苦に対しここに深甚なる敬意と感謝の意を表します

平成二十一年十月五日
由良松寿会
会長 岸田博司

感 謝 状

元由良松寿会会長
岸田 勇殿

あなたは永年に亘り老人クラブの目的である健康・友愛・奉仕活動の推進に尽力されてこられました。特に由良老友会から由良松寿会に発展し脱皮するとき多大な貢献とされました。

今年米寿を迎えられるにあたり数多くの御功績と労苦に対しここに深甚なる敬意と感謝の意を表します

平成二十一年十月五日
由良松寿会
会長 岸田博司



山椒太夫ゆかりの 安寿足湯の発展を祈念して

中西 洋 一

由良の戸千軒長者の館は、旧宮津市農業協同組合由良支所が閉鎖され（平成十三年）その空家を有効活用し活性化を目指して設立されました。

その当時、由良自治連合会会長藤本繁光氏を代表とし、特定非営利活動法人由良の戸千軒長者の館は十五名で安寿足湯プロジェクトチームを組み、そのチーム長に山田耕助氏、副チーム長に木村卓雄氏にお願ひし、運営を開始しました。

平成二十三年一月二十七日安寿足湯オープンセレモニーを開催。宮津市長井上正嗣様と府会議員多賀久雄様に御臨席賜わり、祝辞を頂戴しました。市長さんからは「由良駅前

通りの活性化に役立つ、長期療養ゾーンの拠点としたい。由良地区住民の皆さまの努力を期待します。」

府会議員さんからは「前々から希望、二年がかりで由良に足湯が出来たことを大変喜んでおります。」

そして、甘酒とカニ味噌汁をふるまい、みんなで祝福しました。（参加者五十名）

早速、二十八日から足湯と健康サロン室を無料で公開し、二月十四日までサービスをはじめました。十五日からは一人有料百円で開始しました。足湯は毎週水曜日から日曜日の午前十時から午後四時まで営業（月曜日と火曜日、祝日は休み）

足湯サロンは、海水三割に湯を七割加えてちようど四十二度に保つ。浴槽はサクラ材で造って、幅約二米、縦九十cm、その上にテーブルを置き、ゆっくりお茶や語らいを楽しむくつろぎの場です。

以上は、由良松寿会が先行して取り組み好評され、各紙に報道がありました。順番に「京都、毎日、朝日、産経、読売」とつづき、二月二十七日には、美しさ探検隊十八名がKTRに乗って来訪。【安寿足湯へどうぞ！】とアピールしてくださいました。また、宮津市広報誌みやづにも述べ四回掲載して頂きました。

平成二十四年二月二日、特定非営利活動促進法に基づき法人登記が完了。正式に「由良の戸千軒長者の館」として活動を展開。足湯サービスを継続しながら、屋根の葺替え工事、合併浄化槽の設置、トイレの水洗化、厨房新調、空

調設備等々の工事を進行。これら工事費は国からの交付金三千万円で賄うことが出来ました。この交付金は、海水を利用した高齢者サービス事業安寿足湯の取り組みが評価されて受けたものです。

六月一日から軽食喫茶を始め、女性五人のスタッフの協力でスタート。サロンコーナーには高級なテーブルを置き、空きスペースを利用して地区農産物販売を手掛けたところ、多くの出品協力がありません。新鮮で安く好評を得ています。

一方、由良自治連合会会長榊田栄二様の努力で北前船資料館開設の準備が進み、由良の歴史をさぐる会の協力で、絵馬二十五点掲示、永徳丸板図掲示、永徳丸模型製作陳列、北前船備品陳列ケースの設置、明治維新百五十年記念資料の書棚以上二つのケースと棚を由良郷土館から移設しました。このように整ってきた段階



において、ちょうど日本遺産登録制度が発足し、平成三十年五月二十四日追加認定されました。「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間」北前船寄港地・船主集落の大きな看板を外壁に掲示しました。

以上、多くの方々の協力で、幅広く市民に親しまれ、遠くからも旅行者が立ち寄って楽しんで帰られる観光スポットとして発展して行くよう心より祈念しています。

短歌

榎本 清

ちぎれ雲秋の日差しを一人占め小春日和の浜の子グランド

里山の色づく秋の山道を落葉踏みしめ眺める大島小島

明けやらぬ玄関あければ里山の虚空蔵拝む秋澄みぬ
(由良岳)

暮六日小春日和も今日限り今朝は「大雪」里山は薄化粧

年の瀬に初めて咲いた老梅は丹精こめた花薫る若木

大晦日近所の庭に雪だるま孫さん来たねと我は羨む

※令和元年度「すこやか大学文集」より

「美」に魅せられて

由良カメラクラブ 枝川 隆 亮

私たちは太古の昔より、常に「美」に憧れて生活をしてきました。

毎年四月には駅前通りの満開の桜に感嘆の声をあげます。

なぜ、「花を生けますか」「冠婚葬祭時になぜ美しく着飾りをするのでしょうか」。それは「美」に対するあこがれが心の中にあるのではないだろうか。

春といえば桜を連想します。こんなに国民に多く愛されている花は他にはないでしょう。美しいピンク色の花が一斉に咲き、一斉に散っていくその美しさと、はかなさは日本人の心を魅了してきました。

実は、このソメイヨシノは江戸末期、新たに作られた桜と言われています。最初に生まれたたった一本の木が人々

の手で増やされ続け、今では日本の桜の八割を占めるまでになりました。

どのようにしてソメイヨシノは日本中を埋め尽くすようになったのか。これは、たった一本の木から接ぎ木され、増え続けたクローン植物なのです。

ソメイヨシノの発祥の地とされる東京都豊島区駒込、江戸末期この地は染井とよばれ、植木職人が多く住む村でありました。

この村の一人の職人によってソメイヨシノは作り出されたといわれています。

当時江戸では、新しい園芸品種を作り、楽しむ風習が広がっていました。

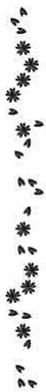
そんな中、職人は新しい桜

を作ろうと、様々な桜の掛け合わせを繰り返していました。古来種の大島桜とエドヒガシの桜を受粉させた、あらたな種を作りその種を蒔き、花が咲くのを待ちました。

繰り返し続けたなか十年後たたくさんの咲いた桜の中に、今まで見たこともない見事な、きれいな桜を発見しました。

大きな花を付け、咲きかたも散り際も見事美しい桜、ソメイヨシノの誕生です。

現在あるどんな出来事なども先輩たちが艱難辛苦、努力し私たち後世に残してくれたことを考えると、感謝とともに「桜」の見方も違ってきませんか。



クラブでは写真を愛する仲間を募っています。気軽に問い合わせください。



駅前通り 満開の桜

由良が光り輝いていた時代 (13)

由良の歴史をさぐる会 加藤 正一

恵比寿講帳面・船頭が四十二人

由良には北前船の船頭が四十
二人の署名がある恵比寿講帳面
に依って船頭が多かったことが
わかっていく。誰でも船頭にな
れるわけではなく一定の能力を
必要とする。次の項目が特に必
要

- ・ 読み
 - ・ 書き
 - ・ 計算 (そろばん)
 - ・ 航海術 (磁石のみ、天候予測
力による航海知識)
 - ・ 商売の能力 (市場予測)
 - ・ 部下管理能力 (不逞を働かな
いよう乗組員管理)
 - ・ 人格保持者 (大金を扱う為
船主、取引先の信頼関係)
- 特に基本的能力として、
- ・ 読み
 - ・ 書き
 - ・ 計算 (そろばん)

をどのようにして取得したので
あろうか？ 一般的には寺子屋
で学んだのであろう。寺子屋数
について江戸末期から明治初め
の資料によれば、驚くべき事が
わかる。(舞鶴市史)

表①

寺子屋	男	女	職業
読・書	40	4	農
読・算	22	1	農
〃	50	12	医
〃	11	2	医
読・書	50	—	僧
〃	72	—	僧
計	255	19	

表②

村名	石高	家数 軒	人数	石/人	寺子屋数	男 人	女 人
行永	1067	117	699	0.75	1	28	2
志高	753	95	602	0.62	—	—	—
北有路	746	141	696	0.5	1	20	10
由良	732	392	1973	0.2	6	246	19
神崎	129	137	794	0.08	2	119	—
上安	649	87	414	0.8	1	21	—
引土	569	28	220	1.3	—	—	—

田辺藩土目録、郡中高究付、舞鶴市史 石高：文化3年(1806) 家数・人数：延享3年

時代的には江戸時代末期の資
料ではあるが、北前船が盛況に
なる前、由良川水運が活発に行
われた時から寺子屋があつたと
も考えられる。

表①

寺子屋を開いている職業が、農、
医、僧が二軒づつ。僧、医は読
み書きができて当然としても、
農民も寺子屋を開くほどの能力
を有していたことがわかる。ま
たこの時代男尊女卑が強かった
と思われるのに、女子に学問を習
わせていることに驚きを感じる。

表②

公民館だより第一五七号で村
名、軒数、人数、一人当たりの
米量、を記述しその考察を記し
た。これに寺子屋を加え見てみ
ると、由良村は圧倒的に寺子屋で
学ぶ子供の人数の多い事がわか
る。また前述したように学ぶ女子
の数も多い事がわかる。由良の人
口は米の取れ高に対して驚くほ
ど大人数である。その要素の一

つは塩であることを記述し、もう一つの経済的要素は後日と書き終えたが、もう一つはこれから記述する廻船（北前船含む）である。廻船・北前船については公民館だより第一六八号に詳しく記したが、再度由良に関わる廻船記録。

享保十六年（一七三二）「丹後加佐郡寺社町在舊記」に記載されている。「売船その数一三〇艘に及びり湊に船繋ぎときは舳を揃え……」

享保四年〜十一年（一七一九〜二六）「今子浦田嶋家先祖由来書」

入船記録は柴山船御番所の船改め業務を代わって行ったもので、享保四年（一七一九）より同十一年（一七二六）まで八カ年にわたり記載されている。

享保四年〜享保九年の間に由良の船持ちが記載されている。

享保四年 七右衛門

享保五年 浜崎屋庄三郎

享保六年 米屋 忠兵衛

同 浜崎屋九左衛門

享保七年 浜崎屋庄五郎

同 新屋佑右衛門

享保八年 新屋六右衛門

享保九年 米屋惣三郎

（詳細は公民館だより第一六八号参照）

これからの資料は外ノ浦石州浜田清水家（現島根県浜田市外浦町）（下図参照）の「諸国御客船帳」をまとめた柚木学著の資料

を基に述べる。清水家の客船帳は延享元年（一七四四）より明治三十四年（一九〇二）までの一五八年間にわたりその客船数は実に八九〇六艘となっている。

続いて新潟県の出雲崎の客船帳「熊木屋の御客上下帳」「泊屋の御客入船帳」について記述する

つもりであり、船主、船頭の確認をしていただきたい。

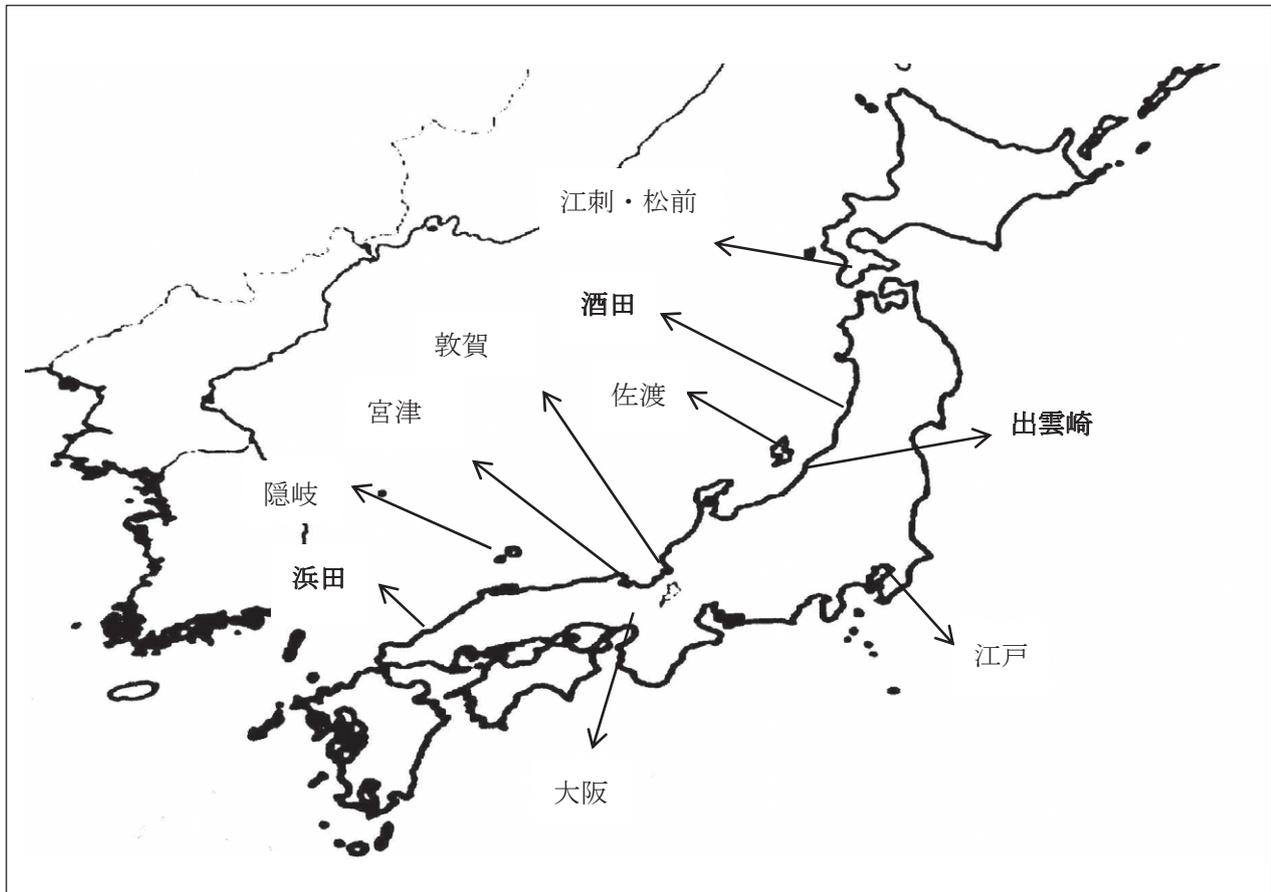
熊木屋 享保二年（一七一七〜

明治二十年（一八八七）。

泊屋 弘化三年（一八四六）〜

明治二十年（一八八七）

の由良分類について記したい。



石見浜田の廻船問屋清水屋の客船帳[1744年～1901年] (延享元年～明治34年)

真下八雄氏「丹後の廻船業」より

船主所在地	入港船名数	入港延べ数				
		計	1744年 ～180年	1801年 ～1867年	1868年 ～1901年	不明
熊野郡湊 (湊宮)	38	52 以上	15	27	9 以上	1
久美浜	1	2	—	2	—	
竹野郡浜詰	5	7	—	7		
塩井 (塩江)	1	1		1	—	
浅茂川	9	19	1	8	10	
あそび	2	5	—	—	5	
間人	78	13 以上	6	106 以上	19	
竹ノ (竹野)	10	19	—	19	—	
平	2	2	—	2	—	
中浜	9	15	1	9	5	
そで石 (袖志)	1	1	—	1	—	
伊根町いね浦 (伊根)	3	6	1	5	—	
日出	1	1	1	—	—	
日置	1	1	—	—	1	
岩滝	47	67	—	54	13	
加悦	18	31	—	—	30	1
宮津	21	25	—	20	4	1
加佐郡由良	93	149 以上	2 以上	118 以上	29	
神崎	69	170 以上	3	45 以上	122	
田辺・舞鶴	19	24	—	16	8	
白杉	1	2	—	2	—	
市場	1	4	—	1	3	
(不明) いそふ	1	3	—	3	—	
二筒	1	1	—	—	—	1
合計	432	788 以上	30 以上	446 以上	258 以上	4

上記表で注目してもらいたいのは、**入港船数**・由良、間人、神崎、の順である。又**入港延べ数**は神崎、由良の順で飛びぬけて多い。神崎が入港延べ数では由良より多くなっているが、内訳を見れば、一八六七年以前(江戸時代)と以後(明治時代)と区分けすると、江戸時代では由良が神崎より圧倒的に多く、逆に明治時代は神崎が由良を圧倒している。由良船は北前船であり大量仕入れ大量販売できる港だけ寄港するようになった。このことは加藤家文書の航海記録を見るとわかるように、明治時代になると航海術が高まり佐渡から一気に隠岐へ行くのと合わせて地域の価格差が少なくなり港々で売買するメリツトが無くなったのではないかと、北前船から降ろされた品物を港々に売買する役目を神崎船は担ったのではないかと考える。清水家の記録をよく見ると神崎船は年に三度も入港している。

親子の食育

宮津市食生活改善推進委員の森本順子様より資料（「おやこの食育教室」一般財団法人日本食生活協会）を提供していただきましたので、その一部を紹介いたします。

みんなで学ぼう！

食育5つの力

1. 食べ物の味がわかる力
2. 食べ物のいのちを感じる力
3. 食べ物をえらぶ力
4. 料理ができる力
5. 元気なからだがわかる力

今回はこの中の「4. 料理ができる力」を学べるように2つの料理の作り方を掲載しましたので、親子で一緒に作ってみましょう。もりつけも工夫して楽しみましょう。



主菜

トマトとブロッコリーのフライパンオムレツ



調理時間 15分

材料(4人分)

- | | | | | |
|--------|-----|---|---------|--------|
| 卵 | 4個 | ① | 牛乳 | 大さじ2 |
| ブロッコリー | 80g | | 塩 | 小さじ1/3 |
| ミニトマト | 4個 | | オリーブオイル | 大さじ1/2 |
| ベーコン | 3枚 | | | |

つくりかた

1. ブロッコリーは小さめの小房に切り分ける。ミニトマトはヘタを取り、横半分に切る。ベーコンは1cm幅に切る。
2. フライパンにベーコンを入れて中火にかけ炒める。油が出てきたらブロッコリーを加えてさっと炒める。
3. ボウルに卵を割り入れてよく溶きほぐし、①と②を加えてよく混ぜる。
4. フライパンをさっと拭き、オリーブオイルを加えて火にかける。フライパンが温まったら、③を流し入れる。菜箸で軽くかき混ぜたら、仕上がりがキレイになるように表面の具材を整え、ミニトマトを散らす。蓋をして弱めの中火で8分蒸し焼きにする。

たんぱく質 10.3g 脂質 13.0g 食塩相当量 1.0g

豆腐白玉のみたらし団子



デザート

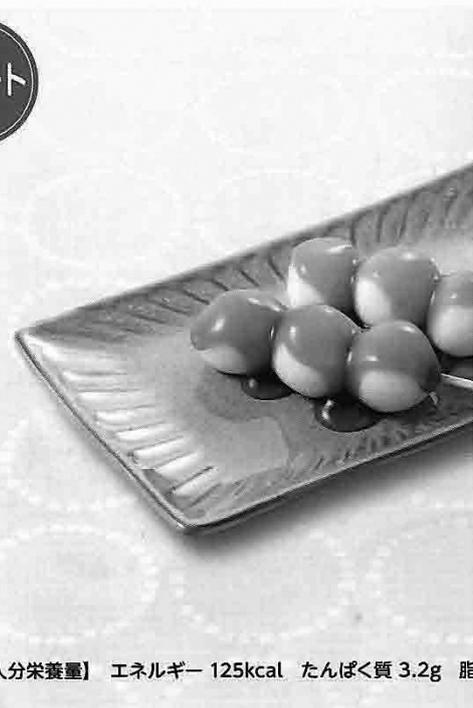
調理時間 15分

材料(4人分)

- | | | | | |
|----------|------------|---------|------|------|
| 豆腐(木綿) | 1/3丁(100g) | <みたらし餡> | 砂糖 | 大さじ4 |
| 白玉粉 | 70g | | しょうゆ | 大さじ1 |
| <水溶き片栗粉> | | ① | 水 | 大さじ3 |
| 片栗粉 | 小さじ1 | | | |
| 水 | 小さじ2 | | | |

つくりかた

1. ボウルに白玉粉と木綿豆腐を水きりをせずに入れる。豆腐をくずしながら白玉粉とよく混ぜ合わせる。
2. 滑らかになるまで混ぜ、お好みの大きさに丸める。
3. 鍋に湯を沸かし、②を入れる。浮いてきたものから冷水にとる。
4. 別の小鍋に①を入れて中火にかけ、砂糖を溶かすようによく混ぜる。沸騰してきたら弱火にして水溶き片栗粉を加えて混ぜる。火を強めて透明感が出るまでヘラで手早くよく混ぜる。
5. 水気を拭き取った③の団子を串に刺し、④をかける。



【一人分栄養量】 エネルギー 125kcal たんぱく質 3.2g 脂

廃村と高齢化

飯澤 登志朗

奈具海岸を走行中フツと思ったことがある。こんなところに道を付けるのは大変……

奈具海岸の道路、国道178号線は明治23年の開通である。明治14年に京都北部道路建設案が示された。当初案は岡田由里く上漆原く宮津であったが当時の由良村総代が、北前船で栄えた由良湊を是非コースに入れてほしいと嘆願書を提出し認められた。しかし、崖と海に囲まれた奈具海岸の工事は大変な難工事が想像できる。現在のよう

に機械もなく人力に頼る工事である。平成17年には愛称「安寿口マン海道」と名付けられ、ドライブインもあり、多くの車が往来していたが最近京都縦貫道が開通してから少し交通

量も減少したのではないか。

そんな場所に昔は村があった。テレビで「ポツンと一軒家」が放送されているが過疎化、高齢化が一つの原因である。また人口減少も昨年全国で50万人減、2040年頃高齢者の介護はピークに達し急場を迎えるのではと報道されている。

過去に全国では、もちろん丹後地方でも多くの廃村がある。大雪や災害、働き場所等理由は違っても高齢化が最大の原因ではないか。

先日、市内にお住いの某氏から長尾村廃村についてお尋ねがあった。勿論私自身知識もないが、由良の歴史をさぐる会に所属していることからであろう。

由良地区も奈具村、長尾村と言われた地域があるが詳細

は不明である。この村は由良村の元祖と思われるが場所や規模は分からないというか、もしご存じの方があればご指導願いたい。

長尾村廃村は文化11年頃と言われているが、これは脇流れがあった時であり災害による集団離村で廃村の運命となつたのではないか。

脇流れについて、中西六右衛門氏保存の古文書によると、文化11年(1814)7月27日夜、前日からの大雨により脇邑を中心に被害発生、家屋流失や田畑埋没、多数の死者が出た災害である。

また、脇自治会が保存する「奈具神社」の資料によると、奈具神社は往昔、奈具峠にあり人の往来もあり旅店等もあったが文化年間に再々の洪水に人家流失、離村と共に神社も現在の場所に遷座されたと記されている。

他にも脇地区には七軒家と

呼ばれた家が存在する。これは峠に在った集落から現在の脇に住み着いた最初の人たちである。

七曲り八峠に集落はあったといわれているが、この峠は2コースあって一つは嶽方面へ、もう一つは奈具を通過して栗田脇へ抜けていたのではないか。

旧街道は、由良から七曲り八峠・嶽・新宮・山中を経て宮津へ抜けるコースが一般的であるがもう一つのコースは由良から礪山・奈具平から栗田脇へ抜ける道が考えられる。

ちなみに奈具海岸の山側にはかなりの田畑があったし(現在は荒廃田)また海にも近く山の幸・海の幸に恵まれており、また採石場として由良の産業の一翼を担っていた。これらの状況から当時集落があっても不思議ではないし、丹後鉄道のトンネルは「長尾トンネル」の名札が掲げてあ

るし、昭和31年の奈具海岸崩壊は長尾山崖崩れで二人死亡と記載されており、このあたりに長尾村が存在していたのではと考えられる。

日頃何気なく生活しているふる里にも色々の歴史があり、先人たちが作り上げた由良を守っていかねばならない。

近年、豪雨による災害が発生している。永年守ってきた家や、田畑そして一番大切な人命が失われているが、放置された山林が崩れ、家屋を押し潰している報道を見るととても自然災害とは思えない。戦後に植林し代々引き継いで育てた杉やヒノキが外材や経済的視点から放置されているのは問題である。

由良地区の高齢化はかなり高い。生活環境、医療関係で色々困っている方も多いが福祉制度の充実を願うとともに地区の繁栄を願いたい。



奈具海岸からのながめ

19のまま

前田 敏哉



母の話では、私は幼い頃から歌うのが好きで、小学校1年の時に来日したビートルズの歌を言葉の意味さえ解らないのに四六時中、口ずさんでいたという。

中学生になって、兄の影響でギターを弾き始めた。まだレコードが買えるほどの小遣いは無かったので、もっぱらラジオで音楽を聴いていた。好きな曲をカセットテープに録音して何度も聴き、ギターで音を探しながら練習した。いわゆる耳コピーをやつた。

私にとってラジオは玉手箱だった。歌謡曲をはじめ、フォーク、ジャズ、ロック、クラシックなど、多種多様な

音楽と出会えた。中でも人種差別や政治批判、社会風刺、反戦のメッセージなどを含むプロテスト・ソングが心を強くひいた。

Don't trust over thirty!

(30歳以上の奴らを信じるな!)。この言葉が、若さばかりの体の中に格好良く響いたものだ。ひと昔前のカウンター・カルチャーに憧れ、行く末の社会のあり方を仲間と朝まで語り明かした、あの時代。叫ぶように熱く歌っていた19歳のころ。

人は音楽に何かを託す。喜びや悲しみ、願いや思いなど。思い出の時間と空間と五感は全てひっくりかえり、その音楽の中にある。あの頃の音楽を聴いたり歌ったりすると、還暦をゆうに過ぎた今でも、身心を熱いものが駆けめぐる。

令和元年度 宮津市立小学校・中学校人権標語優秀作品

- 未来には いじめと差別 受け付けない (中学1年生)
- みのがさないで その一歩が 誰かを救うから (中学2年生)
- 「これくらい…」 あなたのメーター ゆるんでない? (中学3年生)

編集後記

今年の夏は存分に楽しむ間もなくとても早く過ぎ去ってしまいました。長梅雨だったせいもありますが、新型コロナウイルスの影響があることは否めません。球技大会や子ども会親睦行事、灯籠流しに由良ふるさと祭、そして地藏盆、盆踊り… 例年開催されている夏の行事は全て中止となりました。また、臨時休校による授業の遅れを取り戻すため、子ども達の夏休みは二十日間に短縮され、予定していた旅行も断念せざるを得ない状況となりました。本来なら日本中が東京オリンピックの話題で盛り上がっていたであろう2020年の夏、代わって連日報道されていたのはコロナウイルスへの新規感染者数でした。

このような状況の中、唯一

盛夏を実感できたのは、息苦しいマスクを着用して仕事に向かう道すがら、横目で見ていた浜辺の駐車場です。平日も朝早くから近隣府県の車で賑わっていました。宮津市内の3カ所の海水浴場への観光客数は前年同期の118%と、前年を超える活況を呈したそうです。

春先から続くコロナ禍はいまだ収束を見通せませんが、歴史上、収束しなかったパンデミックはないと言われています。ワクチン開発を待つだけではなく、個々がこれまでもとは違う日常を自覚し、新しい生活様式を実践していくことが大切です。気が付くと社会的距離にも心地よさを感じています。秋分の日も過ぎて、めっきり涼しくなりました。この夏には一度も足を運ぶことがなかった浜辺へ散歩

に出かけ、静かな海と秋の空をのんびりと眺めてきました。穏やかな秋であることを願うばかりです。

文化部 山田



昨年の灯籠流し